

会 議 名	第3回港区放課GO→クラブひがしまち運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和3年11月11日（木曜日）午後1時30分から午後3時00分まで
開 催 場 所	麻布区民協働スペース
委 員	出席者 6名 岡田委員長、富田副委員長、安梅委員、請川委員、白井委員、橋本委員
事 務 局	麻布地区総合支所管理課長 櫻庭靖之、施設運営担当係長 駒井 担当 小林 小峰 宇野
傍聴者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）について 議題2 運営事業候補者の決定について 3 閉会
配 付 資 料	[卓上配布] 資料1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）について 資料2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）表 資料3 第一次審査・第二次審査採点集計表 資料4 第2回港区放課GO→クラブひがしまち運営事業候補者選考委員会 会議録 ・プレゼンテーション資料 ・第一次審査（書類審査）集計表（参考資料）
会議の結果及び主要な発言	
事務局	1 開会 （事務局より本日のスケジュールについて説明）
事務局	2 議題審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）について （事業者Aによるプレゼンテーション実施）
委員長	それでは、質疑に入ります。
A委員	一人ひとりの子どもたちに寄り添って育成に取り組む熱意が伝わってきました。 提案書を拝見すると、コロナ対策の部分が管理的なことが多く、理念である子どもたちの主体性を育むという視点が欠けていたように感じました。子

事業者A	<p>どもの主体性を育み、自分で対処できる能力を育てるという視点では、施設長候補者が現在勤務されている施設ではどのような取組をしていますか。</p> <p>子どもたちが自発的に、主体的に取り組めるコロナ対策として、職員が手洗いやソーシャルディスタンスの注意点を周知するのはもちろんですが、子どもたちが自らやりたいという気持ち、心がけようとする意思を育てるために、子どもたちに手洗いやソーシャルディスタンスの注意喚起のポスター作りをしてもらいました。自分たちでポスターを作ることで、より意識を高く持つきっかけになったと考えています。</p> <p>その他に、ハンドソープメーカーによるワークシートや、ボトルに貼るオリジナルシール作りのイベントも行いました。その結果、自ら石鹸で手を洗おうという意識が上がっていったと考えています。</p> <p>また、これから寒くなる季節なので、例年、冷たい水を嫌がる子どもたちが増えます。その対策として、ボトルではなくディスペンサーを使用することや、手洗いスタンプを導入することにより、楽しみながら手洗いするシステムを導入することを職員間で計画しています。</p>
A委員	<p>素晴らしいですね。子どもたちの感染症に対する恐れや偏見の気持ちについてもお話がありましたが、主体的に自分たちで解決していくためにどのような取組をされているんですか。</p>
事業者A	<p>感染症への恐れを克服し、向き合うために、自身が感染しないための対策を考える「こども会議」を行い、まずは子どもたちに自分で考えてもらうことにしました。ただ、対策をしても、感染してしまうリスクは誰にでもあることを帰りの会などで子どもたちに周知し、感染してしまった人を思いやる気持ちを持とうと話し合う場を設けました。</p>
A委員	<p>しっかり対応されていますね。マニュアルにもその内容を盛り込むと良いと思います。</p>
B委員	<p>2点質問させていただきます。</p> <p>1点目は、東町の地域特性として多国籍の子どもたちがいるので、多様な文化、言葉、宗教があると思います。現在勤務している施設で実践されている子どもたちが互いの違いを理解し合うための具体的な工夫や活動内容があれば教えてください。</p> <p>2点目は、放課GO→クラブは、学校とはまた違う異年齢交流の場になるとお話がありましたが、コロナ禍で異年齢交流のしにくさや普段の活動ができないこともあるかと思います。それを踏まえて、今後どのように工夫して活動していこうと考えていますか。</p>
事業者A	<p>1点目について、地域特性を理解した上での取組としては、現在は国旗を掲示して国旗ラリーというイベントを行っています。具体的には、アジア地域の国旗、ヨーロッパ地域の国旗、アフリカ地域の国旗とエリアを分けて、</p>

	<p>そのエリアの中で国旗を幾つ覚えられるのかという遊びです。また、在籍している外国籍の子どもたちの国旗、国の特徴、食文化、遊び、家の構造などの違いについてのクイズ大会も実施しています。</p> <p>2点目について、コロナ禍でソーシャルディスタンスに気を付けて遊ぶために、当社は一人遊びを推奨し、一人遊び用のおもちゃの充実を図っています。その中でも友達や異学年と交流ができるイベントとして紙飛行機大会があります。これは、他者と競うのではなく、一つのチームとなって、参加者全員で目標の点数を目指す取組です。それによって、子どもたちが自分の番ではなくても、友達を応援したり、自分の番では一生懸命励んだりという風に、とても輪を大切にすることができるようになります。</p> <p>今後、コロナが終息に向かい通常の育成に戻ったら計画している異学年交流としては、夏祭りや縁日等、子どもたちが毎年楽しみにしているイベントを復活させたいと思っています。その際には高学年が中心となり、低学年の子どもたちと一緒に計画、準備、実施を行っていきたいと考えています。</p>
C委員	<p>2点質問させていただきます。</p> <p>1点目は、人材育成について、実際に職員の方は1年間に何回ぐらい自由選択研修に参加されるのでしょうか。</p>
事業者A	<p>自由選択研修は、毎月本部から10種類以上案内がきており、毎月2～3つ受講するため、年間30回以上の研修に参加しています。</p>
C委員	<p>一回につき何時間くらいの研修なのですか。</p>
事業者A	<p>一回につき1時間半から2時間くらいの研修です。</p>
C委員	<p>施設内研修はどのようなことをされるのですか。</p>
事業者A	<p>施設長が受けた研修の内容を全職員に共有しています。例えば、子どもに対する適切な声掛けについて、否定言葉ではなく肯定言葉を使うようにといったような内容を共有したあとに、実際に、普段私たちが使ってしまうがちな否定言葉は何なのか、またそれを肯定言葉に置き換えるのであればどういう言葉が良いのかを全職員で話し合い、その結果を育成に活かすようにしています。</p>
C委員	<p>3点目は、抜き打ちの監査があるとのことですが、差し支えない範囲でどんな指摘事項があり、どう改善したかを教えてください。</p>
事業者A	<p>監査の内容としては、個人情報取扱方法や保管状況、金庫の金額の確認、避難訓練等の実施状況、職員の配置等が確認されることが多いです。</p> <p>過去に実際に指摘を受けた内容としては、避難訓練の実施記録とは別に、実施した職員のサインが必要な書類があるのですが、それが不足していたため、必ず揃えるように改善しました。</p>

事業者A	<p>当社で内部監査室があります。内部監査室は、銀行員のOBの方を雇用させていただき、現場に対して妥協は許さず厳しく監査を行い、本部に報告をするようお願いしています。</p>
D委員	<p>2点質問させていただきます。</p> <p>1点目は、施設長候補者にお伺いします。リーダーとして日頃職員管理で意識していること教えてください。</p> <p>2点目は、メンター制度について、どうやってメンターを紹介して、日頃の相談ツールは何を使って、どのくらいの頻度で面談等をされているのですか。そして、放課GO→クラブひがしまちの1年目の職員もしくは新任の責任者には、どのような先輩職員がつくのでしょうか。</p>
事業者A	<p>1点目について、施設長として意識しているのは、まず子どもたちの見本になることが職員に求められていると思うので、その職員の見本に自分になるという意識で勤務しています。職員が1人で問題を抱え込むことがないように、毎日、全体ミーティングで育成について困っていることを共有し合い、それを解決するために話し合う場を設けたり、個別で面談を行ったりしています。また、日々の挨拶で、声のトーンや声量などで、職員の精神、身体ともに不調がないかということは気を付けて把握するようにしています。</p>
事業者A	<p>2点目のメンター制度について、基本的には他の施設の施設長や現場の責任者が、入社1年目の職員や新任責任者のメンターとしてつきます。他の自治体、異なる施設の責任者がつくことで、新しい見方や知識を得られるメリットがあるので、そのような組み合わせにしています。相談ツールとして全施設にタブレットを配布して、オンライン面談を月に1回程度行っております。コロナ禍前は対面で、施設に訪問したり、相談する機会を設けていました。実際に施設長候補者もメンターとして活躍しています。</p>
事業者A	<p>育成の悩みだけでなく、育成とは関係のないちょっとした悩みや思いを聞くことを意識しています。話を聞いてもらうことで、解決にはならなくとも気持ちが和らぐこともあると思うので、職員の気持ちを傾聴することを意識してきました。</p>
E委員	<p>2点質問させていただきます。</p> <p>1点目は、年間目標と月間目標の達成状況の確認方法を教えてください。また、フィードバックをどう活動内容に反映させていくのでしょうか。</p> <p>2点目は、運営している多数の施設間でどのように情報を共有されているのか教えてください。</p>
事業者A	<p>1点目について、年間目標や月間目標の達成状況の確認やフィードバックを活動に取り入れる方法としては、例えば、4月に新1年生に学童のルールを覚えてもらうために、オリエンテーション期間を設けております。この期間に、帰りの会やお昼を食べる時などにルールを説明する時間を設け、翌週</p>

	<p>に、ルールに関するクイズ大会を行い、ゲーム形式でルールの定着を図るようになります。フィードバックについては、達成状況を数値で把握するのは難しいですが、クイズ大会を期間をおいて実施したり、廊下を歩こうというルールが守られない時は、再度ルールを周知したり、また職員が寸劇で説明をしたり、楽しくルールを定着させるような工夫をしています。</p> <p>2点目について、多数の施設間での情報共有の方法として、毎月エリアでのミーティングを行っております。また、当社の学童、児童館の全施設長向けの研修や支援員ミーティングなどが月に複数回あるのでそこで情報を共有しています。</p> <p>それとは別に、当社の従業員のサイトがあり、そこで過去にあった自施設の、イベントや地域、学校と連携した取り組みの内容を共有できるシステムを導入しています。</p>
F 委員	<p>施設長候補者にお伺いします。子どもたちが楽しめる行事のアイデアを掘り起こす工夫などはありますか。</p>
事業者 A	<p>イベントのアイデアを掘り起こす工夫は2点あります。</p> <p>1点目は、職員の得意なことを把握することです。以前バルーンアートが得意な職員がいたので、夏祭りの一つの模擬店にバルーンアートコーナーを設けました。また、美術大学出身で特に絵を得意とする職員もいたので、特技を生かせるようなイベントを考えたりしました。</p> <p>2点目は、施設に設置している意見箱です。子どもたちのイベント、おもちゃ、おやつ希望を吸い上げイベントなどに反映させています</p>
F 委員	<p>多数の児童館、児童関係の施設を運営されていますが、職員の定着率どのくらいでしょうか。</p>
事業者 A	<p>どの施設でも常勤職員は一定程度の異動がありますが、非常勤職員は長期で勤めていただけています。職員の異動に関しては、本部でもヒアリングを行い、自治体とも相談をさせていただきながら、できるだけ本人の希望は配慮いたします。また、職員のキャリアアップのタイミングをひとくくりとして異動の目安とは考えております。</p>
事務局	<p>それでは時間となりましたので、事業者によるプレゼンテーション及び質疑を終了いたします。</p>
事務局	<p>議題2 運営事業候補者の決定について 第二次審査結果の説明 事業者Aは、1815点満点中1375点で、加算項目分を除く得点率は76.2%という結果です。</p>
委員長	<p>それではこの点数を受けまして、各委員の皆様からご講評をお願いし、内容を審議いたします。</p>

A委員	非常に現状を理解できています。楽しみながら衛生管理に取り組む工夫をするなど、子どもたちの自主性、主体性を重んじた育成が期待できると思います。おおよそ優れているということで、全て4点にしています。
B委員	放課GO→クラブの事業内容や地域のことをよく理解していると感じました。多様性や異年齢交流について質問しましたが、国旗を覚えることや、クイズ大会など、少し知識重視の印象を受けたので、もう少し文化の違いのことなども説明がほしいとは思いましたが、スタートとしては良いと思いました。
C委員	施設運営の考え方に高得点をつけました。 研修について質問しましたが、職員が月に多数の研修を受けられるということは驚きました。メンター制度など、職員の育成体制も整っている印象でした。安全対策については、低めの点数ですが、低いということではなく一般的だと感じたためこの点数にしています。
D委員	基本的に施設の特徴をよく理解されていて、各項目優れていると判断をしました。特に、同種の事業実績が十分にあり、放課GO→クラブに対する本部のしっかりとした支援や監査体制が期待できると思いました。 また、全体を通して、施設長候補者が緊張しながらも誠実で信頼性が高いと感じました。
E委員	これまでの経験で培ったものを活かして、麻布地区の地域特性をしっかり理解した上で、提案していると感じました。 本部の体制もしっかりしており、施設長候補者についても、説明から現場で実践していることが手に取るようにわかり、とても良かったです。
F委員	施設長候補者について、経験豊富で、子どものことをよく考えて施設運営されている印象を受けたため、満点をつけています。 もちろん全体を通して、安定した施設運営をされていると感じました。
委員長	各委員からの意見を受けて、点数の変更はございますでしょうか。
全委員	(変更なし)
委員長	それでは、第一次審査・第二次審査合計点数を発表します。 事業者A 合計点数1375点 得点率76.2%。(加算項目分除く) よって、港区放課GO→クラブひがしまち運営事業候補者は、事業者Aでよろしいでしょうか。
全委員	了承
委員長	それでは、当委員会として、港区放課GO→クラブひがしまち運営事業候

事務局	<p>補者は、事業者Aに決定いたします。 事務局は、決定した運営事業候補者を発表してください。</p> <p>港区放課GO→クラブひがしまち運営事業候補者として決定した事業者Aにつきましては、株式会社日本保育サービスでございます。</p>
委員長	<p>3 閉会</p> <p>以上をもちまして、港区放課GO→クラブなんざん運営事業候補者選考委員会を終了いたします。</p>